

議発 ー 213  
令和2年3月30日

にかほ市長 市川雄次 様

にかほ市議会  
議長 佐藤 元

にかほ市議会からの政策提案について（送付）

平素より議会運営につきましてはご指導・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて議会では、市政の課題について調査研究を行い、政策形成機能、調査研究機能を積極的に発揮しようと「にかほ市議会政策検討会議」を昨年6月に設置し取り組んでまいりました。にかほ市議会改革推進会議、同全員協議会において、別紙のとおり政策・施策に関する提案がまとまりましたので送付いたします。

提案の趣旨、内容等をご賢察いただき、政策・施策への反映について特段のご配慮をいただきますようお願い申し上げます。

なお政策検討会議からの最終報告書も添付いたしますのでご参照ください。

## 【議会からの提案事項】

### 1. 移住・定住施策について（情報発信の改善）

#### 要旨

移住・定住施策を推進していくためには、市の施策を外部へ発信することが最も重要である。それには「ワンストップ化」とまではいかなくとも、利用者が一目で自分の希望する情報を目に出来るようにホームページ（以降HP）を再構築（リニューアル）する必要がある。移住希望者が必要とする情報、にかほ市の魅力を前面に押し出し、視覚的にわかりやすく移住希望者の目に留まるようなHPの作成を目指すべきである。

同時に、市民も利用しやすいHPを目指すべきである。

#### 具体案

①「移住希望者が求める重要項目」以下㊦～㊨を最前面に掲載し、必要な項目を詳しく検索できるページ構成にする

㊦生活環境（気候、医療、交通等）、㊧仕事、㊨教育・福祉、㊩住居

②「市民が利用しやすいHP」に改善する

各項目のページにイラストなどのジャンプボタンをつくり、必要とする情報をわかりやすく検索してもらえるように構築する。検索バーを利用する市民は少ない（使い方がわからない）。必要とする情報を簡単に取得できるように努める。

③その他、仁賀保高校生による「移住・定住促進」ポスター制作（PRイベント、市内掲示、市民への周知、市民による情報発信）、市民及び有識者との意見交換会なども、移住・定住の促進のために提案する。

#### 結び

先行・先進自治体も参考とし、とにかく目に留まるよう視覚的に興味を待たせること、イメージ戦略の観点からアクセス数の目標を設定すること、予算的な制約・制限をいったんクリアして検討することなど、にかほ市イメージアップのため、さらなる検討を加えていただきたい。

「人口減少対策としての移住・定住の促進」が当初の検討項目であったが、今回の提案は「情報発信手段の改善」に留まるものとなった。他の施策とのパッケージにより、にかほの魅力アップに努めていただきたい。

## 2. 仁賀保高校との永続的連携について

第7次秋田県高等学校総合管理計画・後期計画が示されることが目前に迫り、仁賀保高校の存続を含め、同校と地域との永続的連携を図るため、次のことを提案する。

- ①にかほ市と仁賀保高校との連携協定に基づき、市と学校或いは市内各種団体との交流又は共催事業を活発化し、地域に溶け込み、地域になくてはならない学校像を構築する。
- ②地域振興の核となる高校の機能強化を進めるため、将来に向けた仁賀保高校の位置付けを明確にし、減少する生徒数を確保する施策を打ち出す。
- ③学校魅力化プロジェクト構想・計画を立案、推進できるよう、県・市・教育機関、市民等に呼びかけアクションを起こす。
- ④秋田県立大学、秋田大学、東北公益文科大学との協定を活用し、魅力化プロジェクトが加速するようスクールコーディネーターを配置（市又は県）する。併せて仁賀保高校と市内小・中学校のプログラミング教育、交流・連携事業等を推進する。
- ⑤通学の利便性を図るため、コミュニティバスの活用を図る。
- ⑥他地域・他県からの留学生の受け入れを進め、教育環境を誘因とした移住・定住策を整備・導入する。
- ⑦にかほ市が進める総合観光施策を現場で実践的に学べるよう、現在の情報メディア科を「メディア観光科（仮称）」へ発展させる。これにはノースアジア大学との協定を活用する。

### 結び

高校生を「教育を受ける主体」としてのみ捉えるのではなく、「地域産業や地域活動に参画する主体」として位置付け、高校生による地域振興をいかに図っていくか。持続可能な地域と教育を、にかほ市と仁賀保高校との連携協定の永続的推進を通して、市民一人ひとりが大きな関心を寄せていく必要がある。

### 3. 図書館機能付き文化施設について

市長公約にある「図書館機能付き文化施設」は、令和2年度より「図書館機能付き文化交流施設整備事業」として、基本計画策定検討委員会設置の予算案が計上された。施設の具体案は示されていないが、議会の先進地視察等を踏まえ、次のことを提案する。

- ①図書館には限らず、複数の機能を有する施設でもよい。
- ②将来の人口や財政を考慮した施設・事業が望ましい。
- ③建設後の施設の運営体制についても基本計画と同時に検討する。
- ④市内の文化・教育団体等の意見や要望を広く収集する。
- ⑤建設にあたっては市全体の公共施設の統廃合・整理を公共施設等総合管理計画に沿って着実に進めること。

**結び** 市民のニーズを十分考慮した上で「基本計画策定検討委員会」での議論に期待する。平成19年3月1日付「にかほ市総合文化センター（仮称）建設基本構想検討委員会報告書」も何らかの参考となるのではないかと期待する。

## 4. 観光振興に関する現状・課題及び課題解決のための提案

### 【要旨】

市民との意見交換である議会報告会を踏まえ、観光振興による地域経済の活性化を目的に、観光資源の更なる磨きと活用により、ニーズを捉えて滞在期間と宿泊客の増加に取り組むため、当市の観光振興に関する現状と課題、それらに有効と考えられる施策の一端を観光全般にわたり提案するものである。

具体的に提案する個別の事業・施策は報告書を参照のこと。

### I 観光スポットが単独的となっていること

豊富にある自然観光資源が有機的に繋がっていないため、市内各観光スポットが単独的で眺望スポットも構築されていない状況から、観光客の流れも単独的になり滞在時間の拡大には結び付いていないほか、自然観光地から物販や土産物店、食の提供場所への案内看板なども含め誘導策が充分図られていない。

#### ○課題解決に向けた提案

観光媒体として効果的な活用を図る観点から、にかほ市の観光資源の歴史や史跡・遺跡などにストーリー性を持たせた観光案内、展示も効果的と思われる。「奥の細道」松尾芭蕉が目的とした最北の地「象潟九十九島」の周辺圃場整備を機に、蚶満寺周囲に「潟」を復元し往時を偲ばせる主要観光スポットとしての整備や、象潟大竹線の道路改良とあわせ新たな九十九観光スポット・ルートの環境整備なども本市の重要な観光振興策のひとつになりうると考える。

滞在型観光推進のため、各観光スポットを周遊するコミュニティバスや観光バスの運行のほか、近隣市町との広域的観光ルートなど広域観光事業の推進も不可欠である。

### II 観光案内看板を含めた観光情報提供・発信手段の再検討が必要

案内看板をはじめ観光客等への情報提供不足との声が多く、案内看板の見直しや設置個所の再検討、観光情報提供・発信拠点の見直しや整備による充実強化が必要である。

#### ○課題解決に向けた提案

幹線道路及び市内の観光スポット案内看板の不足の声が多く、観光客に分かりやすい案内看板への見直しや設置個所の再検討も必要なほか、観光拠点センターの機能充実強化と拠点の再配置による分散型の拠点整備も必要である。また、市民総観光案内人との意識を醸成するため観光パンフ全戸配布」「市民講座」など観光を学ぶ機会を設け、市民が観光客と「もてなしの心」で接することは高感度アップにつながるものとする。

### Ⅲ 廃校の効率的活用の再検討

廃校の利活用については他自治体の活用事例も多い。地域のシンボルであり、地域コミュニティの場でもあることから、地域の活性化にもつながるような活用が期待される。

#### ○課題解決に向けた提案

それぞれの廃校について、地域の実情も踏まえ以下のとおり活用策を提案する。

##### ①旧上郷小学校について

雄大な鳥海山を間近で全貌できる抜群のロケーションを有し、周囲には豊富な自然観光資源が集積していることから、新たな観光情報発信及び交流拠点としての活用は本市観光振興に資することは論をまたないところであり、ジオパークのモニュメントの設置とともに、自然観光情報発信拠点としての展示や観光案内所の設置なども検討する必要がある。また、地域コミュニティの場としてはもちろんのこと、地域住民による地産品の直売や地産の蕎麦などの食材を使った食の提供、ドライバーなどの休憩所として、さらには簡易宿泊所としての3階部分の活用も期待するところである。

##### ②旧上浜小学校について

県内有数の鮭遡上地として奈曾川、川袋川の2河川でふ化・放流事業が行われ、市内小学校児童や保育園、幼稚園園児による稚魚の放流体験など、この地域ならではの体験ができることから、地域の特色を生かした鮭の生態（産卵・ふ化・放流・回遊等）の資料展示、鮭や山菜などの加工と販売、旬の食の提供なども検討に値する。

##### ③旧小出小学校について

現在、障がい者雇用の拠点施設として、各種栽培生産物の加工・販売、食事の提供などにより地域内外から訪れ好評を得る施設となっており、更なる拡大も望まれる。また、地域農業の歴史や関連産業の資料館並びに研修施設として、地域特産品の直売所など地域交流の場としての活用も併せて検討を望むものである。

#### その他

今後取り組むことにより本市の観光振興に資すると思われるものとして、観光漁業の推進による地引網体験ツアーや地元産の魚介類のPR・ブランド化、土田牧場と連携した「にかほ高原のアウトドアレジャー」の推進と施設の整備、冬期間のスノーモービル体験コースなど冬場のイベントによる通年型観光への取り組みも重要と考える。また、㈱モンベルと連携し「通年型のアウトドア活動」を促進することにより、にかほ市観光に更なる幅を持たせることで交流人口の一層の拡大が図れるものとする。

観光による地域経済の活性化対策に本腰を入れて取り組む必要から、自然観光地から道の駅・市内への誘導対策も徹底する必要がある。

観光協会や民間団体などを主体とした誘客イベントなどに対して、市はしっかり必要な支援を行うほか、市内ホテル、旅館、飲食店、土産物店等との連携を強化し市内観光産業の活性化策も併せて早急に取り組むことを強く望むものである。

**参考 議会報告会（中高生）からの提案**

- ①小さな子供向けの「テーマパーク」をつくる
- ②街並みや九十九島を見渡せる高い展望台やタワーの建設
- ③空き家を改造した宿泊施設
- ④地域で連携した観光客へのもてなし
- ⑤若者が中心のイベント
- ⑥九十九島のオーナー制や命名権制度の創設
- ⑦鳥海山にロープウェイを建設